

## 大会参加上の注意および連絡事項

### 第1回キンダーキッズ・ラグビーフェスティバル

【日時】2018年2月24日（土）9:15～15:00

【会場】ヤンマーフィールド長居（長居第2競技場）

大阪市住之江区東住吉区长居公園 1-1 TEL:06-6691-2500

- ・ **第1グループのチーム受付は9時15分から開始します。**  
**第2グループのチーム受付は11時30分から開始します。**
- ・ 開会式 第1グループ 10時より終了後に各コートへ移動  
第2グループ 12時30分より終了後に各コートへ移動  
閉会式 第1グループ 12時40分頃より  
第2グループ 14時50分頃より
- ・ 移動及びゲーム進行については競技委員の指示に従って下さい。
- ・ レフリーは競技委員にて行いますが、タッチジャッジは各チームにてお願いを致します。
- ・ 試合中に選手後方での指導は1名にてお願いします。
- ・ 保護者の方はコート周辺のトラックにて観戦はOKです。（芝生内はスパイクのみ）  
写真・ビデオ撮影も自由ですが競技委員には従って下さい  
また、履物は革靴・ヒールは不可とします。アップシューズ等にてお願いします。
- ・ 本大会は平成29年度（公財）日本ラグビーフットボール協会制定、平成27年度改訂版「ミニ・ラグビーの競技規則」に基づき行います。またワールドラグビー試験的ルールの実施についてはワールドラグビー（WR）、JRFUの日程に従って、平成29年8月1日より実施しています。  
**【子供達の安全と楽しさを優先にしたレフリングを行いますので宜しくお願い致します】**
- ・ 選手入れ替えについては必ず競技委員に申し入れ、指示に従いフィールド内に入る事。
- ・ 選手の服装については日本ラグビーフットボール協会からの通達どおり正しい服装でゲームに参加して下さい。
- ・ トスはゲーム前にコート内にて行います。
- ・ 喫煙は所定の場所のみでお願いします。
- ・ **ゴミは各チーム責任をもって持ち帰り下さい。**

## 競技規則及び留意事項

・本大会は平成 29 年度日本協会制定のミニ・ラグビー競技規則に基づき行います。

ただし安全第一の視点からモール・ラックについては早めに止めます、また、年齢を考慮しある程度の反則についてはレフリー判断においてゲームを継続し協議を楽しめるように致しますのでご理解をお願いします。

### 1. 本大会特別規則

- 試合時間は 5 分ハーフで行ない、ハーフタイムは 1 分とします。
- 各コートの協議委員に従って速やかに交代をして下さい
- 待機場所はコート回りの指示された場所にて待機をお願い致します。
- その他、29 年度ミニ・ラグビー競技規則記載の各、注意事項に従い競技を行ないます。
- 細部について質問がある場合は本部役員もしくは協議委員へ問い合わせ願います。

### 2. 競技上の注意

- タッチジャッジは各チームより出して下さい。
- コイントスは試合前にコートにて行います。
- 選手交代は協議委員の了解を得て交代をして下さい（制限はありません、リエントリーも可）
- 選手はもちろんのこと、指導員のスパイクもゴムの固定式であること。  
また、グラウンドに入る保護者もスパイクが望ましいがアップシューズでも可  
（革靴・ヒール等については不可とします）
- タッチジャッジ役の指導員はレフリーを助け、タッチジャッジに専念してください。
- ウォーミングアップについては、コート周辺の空きスペースにてお願いします。
- グラウンド内での給水は水のみとし、スポーツドリンク等は禁止します。

### 3. 安全対策に関して

- 各スクールとも保険加入された上でご参加ください。大会中に発生した負傷については、応急処置の外は責めを負いません。
- 新型インフルエンザと診断もしくは認められる選手は、各スクールの責任において出場の辞退を行ってください。

### 4. 観戦上の厳重注意

- グラウンドへの入場は、保護者も含めてチーム単位にて行動をして下さい  
また、グラウンド内での写真・ビデオ撮影は自由ですが進行の妨げや選手・他人の迷惑にならないようお願いを致します。（不都合がある場合は退場して頂く場合もありますのでご了解ください）

### 5. 本大会留意事項

#### キック

- ・ 地面にあるイーブンボールを相手側に強く蹴り込む行為は禁止である。また相手プレイヤーがイーブンボールにセービングなどでや働きかけている所へのキック行為は相手に怪我をさせる様な行為として厳重に対処します。

#### ゴールキック

- ・ トライ後のゴールキックは行わない。

#### ファールプレイ及びペナルティ

- ・ 防御の際に、相手をしっかりバインドせず振り回すプレー、ボールを持っているプレイヤーをチャージしたり、突き倒したり、あるいはタッチラインの外に突き出したりするプレー、フェンドオフ（腕を横に振り、相手を払い除けるようなプレー）はいずれも危険な行為であり、ファールプレイである。  
頭から相手に当たる様な行為、相手に怪我をさせるような行為や◎頭が下がっていたり安全な姿勢を保てずボールを取りにいたり密集に飛び込むプレーも危険な行為である。（注◎）  
また判定に異議、相手の反則のアピール、相手への礼を失した言動等、スポーツマンシップを損なう行為は厳禁である。

すべてのペナルティにおいて、反則を犯さなかった側はタップキックによってプレーを再開する。その際、相手側は反則のあった地点からゴールラインに平行して少なくとも5メートル下がるか、反則があった地点がゴールラインにから5メートルない場合は、ゴールラインまで下がらなくてはならない。フリーキックも同様である。なおペナルティキックあるいはフリーキックにおいてタップキックするプレーヤーはボールを地面に置き足だけで明確に触れる事である。

#### タックル

- ・ タックルしたプレーヤーはすぐに相手を離し転退する。
- ・ タックルされたプレーヤーはすぐにパスするか、ボールを手放す。
- ・ ※全てのプレーヤーは、倒れているプレーヤーの後方からボールに向かって立ってプレーする。ボールの位置から離れたスワイプや頭が下がる突っ込みや倒れ込み、シーリングなど自立していない状態やボールの前で立ちほだかるプレーはすべてPKである。(注※)
- ・ ◎タックルされたプレーヤー、地面に倒れたプレーヤーが、身体と地面の間にボールを確保し、脚の間からボールを後方に押し出すプレー（スクイズボール）は、どのような状況であろうと危険なプレーとしてPKをとる。(注◎19歳未満に適用)
- ・ 脇から上のタックルはすべてハイタックルである。襟を持つことも危険なタックルであり、また、相手をバインドせず突き倒したり投げ飛ばしたりするプレーや頭突き、相手を掴んで振り回す行為はタックルではなく、危険なプレーである。意図的でなく偶発的な場合で同じです。このようなプレーにはレフリーは即刻試合を止めて厳しく対処します。

#### モール

- ・ 横あるいは後ろに動いている場合も停滞している状態である。  
本ルールには5秒間停止した後とありますがミニラグビーは転倒時の危険等が予想されるので早めに声をかけスムーズにボールが出ないと判断すれば5秒にこだわらずモールを終了させスクラムで再開する。

#### ラック

- ・ ※ラックは少なくとも一人のプレイヤーが両足で地面にある（または、タックルされたプレーヤーの上、タックラーの上にある）ボールをまたがって立つ事で開始される。  
この時点でオフサイドラインが形成される。両足で立ったプレーヤーは、すぐに行う限り、ボールを拾う事が許される。ただし敵のプレーヤーが到着した瞬間、手の使用はできなくなる。(注※)  
◎ボールキャリアが倒れてボールが停滞すれば、安全のために即時にプレーを止める。(注◎)  
※ラック内にボールがありコントロールしている場合はラックは終了していません。(注※)

#### その他

- ・ 試合開始時にはジャージをパンツの中に入れ、ストッキングをしっかりと上げた状態で整列する事。  
試合中もこの状態を保つように努力ください。  
またヘッドキャップは頭に合った物をしっかりとかぶり試合中に取れないようにしてください。
- ・ ドレスチェックは行なわないので、各チームでスタイル、爪等をチェックすること。
- ・ ゲーム中は、レフリーから様々な指示の声がかかるのでその声に従う。

参加選手の全てがラグビーフットボールを安全に楽しむ事が出来るように指導者の方は競技委員と連携して競技運営を進めていきますのでご協力を宜しくお願い致します。

レフリーは競技委員が事前に大会実行委員会における研修指導を受け趣旨を把握して安全に重きをおいてレフリングにあたります

#### (参考資料)

- ☆19歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則 2017
- ☆U-15 ジュニアラグビー競技規則 2015
- ☆U-15 ジュニアラグビー安全基準 (2012.4.1)
- ☆U-12 ミニラグビー競技規則 2015
- ☆世界的試験実施ルール (2017年9月現在)